

# 2026 年度 研究所重点研究プログラム（タイプ A/タイプ B）

## 募集要項

### 1. プログラムの目的・性格

学内外の研究動向を踏まえ萌芽的な研究を発掘し、組織的な支援を通じて研究活動を発展させることは研究所の重要な役割となることから、研究所としての重点研究プロジェクトを設定し推進する取り組みに対して支援を行うと同時に重点研究プロジェクトに若手研究者の参画を促し、研究所の特徴化と若手研究者育成を促進することを目的に、本制度は実施されます。

タイプ B に関しては、世界水準の研究拠点を中長期的な視点に立って形成していくことを目的とした「研究拠点形成支援プログラム」の支援 3 拠点を対象とします。本大学の特長ある研究拠点として、これまでの人材育成・輩出実績をもとに R2030 チャレンジ・デザインの目標である教育と研究の拡大的再結合への貢献を特に期待します。

なお、2026 年度より第 5 期研究高度化中期計画期間（2026-2030）に移行しますが、2026 年度については暫定的に前年度を踏襲し募集を行います。2027 年度以降は第 5 期研究高度化中期計画に基づき制度内容の変更・見直しを行う予定です。

### 2. 募集内容

助成対象	<p>① 対象研究拠点</p> <p>○タイプ A（9 拠点対象）</p> <p>人文科学研究所 国際地域研究所 国際言語文化研究所 人間科学研究所 白川静記念東洋文字文化研究所 社会システム研究所 地域情報研究所 アジア・日本研究所 デザイン科学研究所</p> <p>○タイプ B（3 拠点対象）</p> <p>アート・リサーチセンター 歴史都市防災研究所 生存学研究所</p> <p>② 重点研究プロジェクトの申請条件</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・過去 3 ヶ年以内の科研費等の省庁系の補助金や、民間財団の助成金等、学外研究資金への申請実績があること</li><li>・若手研究者（専門研究員・研究員・RA・学振 PD・大学院生等）の参画</li></ul> <p>○タイプ A</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・RA（本大学に所属する博士後期課程学生）を雇用すること</li></ul> <p>○タイプ B</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・RA（本大学に所属する博士後期課程学生）を雇用すること</li></ul>
------	--

	・国際的に優れた研究基盤の構築と、世界をリードする創造的な人材育成を目指したプロジェクトであること
助成額上限	○タイプ A 上限 500 万円の範囲内で助成 ○タイプ B 1,000～2,000 万円の範囲内で助成
助成対象期間	2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日
申請方法	事業計画を取りまとめ、研究所ごとに申請する（※各研究所から直接、各リサーチオフィスに提出。後述）。

### 3. 審査にあたって

(1) 副学長を委員長とする研究所重点研究プログラム審査委員会における審査  
当該審査委員会が審査基準に基づく審査を行い、助成額を決定する。

- 1) 助成額は、研究所毎に審査し、決定する。
- 2) 申請要件を充足していない場合は、計画変更の要請を行う場合がある。
- 3) 審査結果は研究委員会に報告する。

(2) 審査基準

下記のポイントを中心に評価を行った上で、総合評価する。

1) 研究目的

- ①研究目的が具体的かつ明確に示されているか。
- ②研究課題を設定する視点に、特色や独創性が認められるか。

2) 研究計画・方法

- ①研究目的を達成するため、研究目標・研究計画は十分練られたものになっているか。
- ②研究計画と予算計画の整合が図られているか。また、効果的、効率的な予算執行を企図しているか。

3) 若手研究者育成のための工夫

- ①若手研究者を加えた体制であるか。
- ②若手研究者育成の方策が中長期的な育成計画にもとづき明記されているか。

4) 研究活動の展開・方向性

- ①学外研究資金の今後の申請予定が妥当なものか。
- ②研究成果を広く発信し、社会へ還元する方法等を計画しているか。

5) 前年度評価

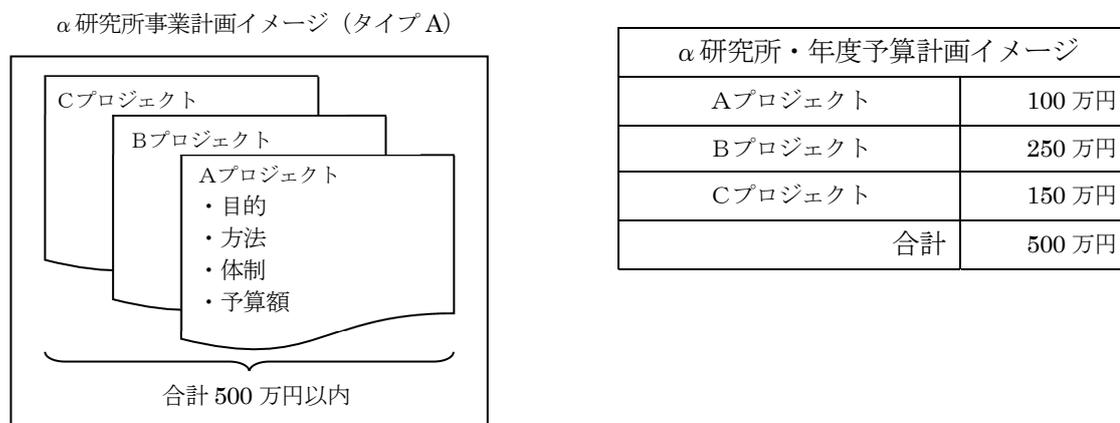
- ①前年度事業計画の達成状況。
- ②前年度の実績に基づいた事業計画となっているか。
- ③前年度採択された事業計画に記載された外部資金への応募を行ったかどうか。

### 4. 留意事項

(1) 各研究所から申請される事業計画は1つとします。ただし、事業計画の中で複数の重点プロジェクトを設定することは妨げません。

(2) 助成額は研究所毎に審査し、決定します。

- (3) 2026年度より第5期研究高度化中期計画期間に移行します。同計画におけるKGI・KPIは新たに設定されますが、本プログラムでは暫定的に第4期研究高度化中期計画におけるKGI・KPI（参考資料1）を踏まえて申請調書を作成して下さい。



## 5. 研究経費の使途

研究費執行ガイドブックに規定される基準にもとづき、以下の経費を支援対象とする。

### ○タイプA

設備備品費、消耗品費、旅費（国外・国内）、人件費（RA）、アルバイト等謝金、図書資料費、印刷費など、研究計画の遂行に必要となる経費を対象とする。

※人件費は、原則6カ月以上の雇用とすること

### ○タイプB

設備備品費、消耗品費、旅費（国外・国内）、人件費（専門研究員、研究員、RA等）、アルバイト等謝金、図書資料費、印刷費など、研究計画の遂行に必要となる経費を対象とする。

※人件費は、原則6カ月以上の雇用とすること

## 6. 審査結果の通知

審査結果の通知については、2026年3月下旬（予定）に研究所長、センター長宛に通知する。

## 7. 申請書類および個人情報の取扱い

- (1) 申請書類等の提出物は審査のみに利用する。なお、提出物の返却はしない。
- (2) 申請書類等より取得した個人情報は、審査以外の目的には利用しない。

## 8. 申請方法・審査スケジュール

2025年12月23日（火）～2026年2月13日（金）23:59	申請受付期間
2026年2月16日（月）～2026年3月16日（月）	審査期間
2026年3月下旬（予定）	審査結果の通知
2026年4月1日	プロジェクト開始

申請締切 : 2026年2月13日(金) 23:59

申請書提出先: 衣笠総合研究機構 修学館2階 衣笠リサーチオフィス  
 担当 蛸子(えびこ)・辻・尾崎 (内線511-2571)  
 E-mail: k-kikou@st.ritsumei.ac.jp

BKC社系研究機構 アクロスウイング5階 BKCリサーチオフィス  
 担当 齋藤 (内線515-2503)  
 E-mail: aross@st.ritsumei.ac.jp

OIC総合研究機構 A棟8階 OICリサーチオフィス  
 担当 綾城・野田 (内線513-2992)  
 E-mail: oicsoken@st.ritsumei.ac.jp

立命館アジア・日本研究機構 朱雀キャンパス 中川会館5階 RARAオフィス  
 担当 中川 (内線510-2417)  
 E-mail: aji-res@st.ritsumei.ac.jp

提出方法 : 所定様式の申請調査データをメールにて提出

**研究者DB入力のお願**

研究者DBは、研究業績やプロフィールをWebから公開するためのデータベースです。審査過程で参画する研究者に関して研究者DBを参照することがあります。できるだけ多くの情報を入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。詳細は、研究部ホームページ([http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/researcher\\_login/index.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/researcher_login/index.html/))からご覧ください。

参考資料1: 第4期研究高度化中期計画のKGIとKPI※カッコ内は2020年度の実績を表す。

	<p><b>KGI</b></p> <p><b>Key Goal Indicator</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• QS世界大学ランキング 301~400位 (801~1000位)</li> <li>• THEインパクトランキング 101~200位 (201~300位)</li> <li>• Top10%国際共著論文 160本/年 (80本/年)</li> <li>• 科研費大型種目&lt; A以上&gt;採択数 10件/年 (5件/年)</li> <li>• 外部資金獲得額 50億円 (33.5億円)</li> </ul>
	<p><b>KPI</b></p> <p><b>Key Performance Indicator</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• QS世界大学ランキング学術者評価 評価者数 300名 (86名)</li> <li>• THEインパクトランキング 評価ポイント 84.0 (75.4)</li> <li>• 科研費各種目の採択件数、採択金額 790件 (690件)、18億円 (14億円)</li> <li>• 産学官地連携による外部資金額 11億円 (7.3億円)</li> <li>• 海外派遣研究者数、受入研究者数 1,334名 (7名)、440名 (140名)</li> <li>• 国際共著率、ハイインパクトジャーナル投稿数 33.3% (29.2%)、200件 (94件)</li> <li>• 研究所、研究センタープロジェクト等への大学院生の参加者数          博士後期課程学生300名 (D191名)、博士前期課程学生300名 (M192名)</li> </ul>

以上